

幼兒の生活の研究

日本女子大學
兒童研究所

兒 玉 省
佐 々 木 信 子
宮 本 美 沙 子

就學前の幼兒、特に幼稚園年齢の子供は朝起きてから夜寝る迄の間、どういふ生活をしているであろうか。大體の事に就ては、日常さういふ子供に接觸している人は誰れしもよく知つてゐる事であるが、我々はそれを最近の子供に就て、子供が朝起きてから夜寝る迄の間に従事している(一)活動の種類と(二)其時刻と(三)其時間的長さに就て、少し精確に確めて見ようとした。本文は其調査の結果の報告である。

調査の方法と對象

調査したいと思ふ子供の母親又は兄弟などに對して我々が生活時間調査紙と呼ぶ紙を渡して、子供が起きてから寝る迄の間にしてゐることを記録して貰うことを依頼した。その調査紙には直線が横に引いてあつて、其線には午前零時から翌日の午前零時までの二十四時間の間を三十分毎の目盛がつけ

てあつて、記録者は觀察した行動を其がい當した時間の所に付けて行くことになつてゐる。また記録をつける日は、晴天の週日一日と、同じく晴天の休日で、大體よく觀察のできた日であること。時期は一昨年(六、七月頃)と昨年の同期頃であつた。ここで報告するのは、數え年五、六、七歳の東京の兒童、五、六歳兒約百名、七歳兒約五〇名の調査の結果である。

此年齢の子供の此種の調査は、子供が動き廻つてゐる後を一々つけて廻らなければ、正確な記録がとれたとは云い難い。そして我々の資料がそれ程けん格に取れたとはいひ得ない。然し我々は此種の調査を兩三回に亘つて施行したが、其結果では資料が大體の點では一致するようであるから、その程度では正確だと考へていふと思ふ。以下各年齢毎に其生活を叙述してゆくが、そこに掲げてある數字は各年齢毎の兒童

の大多数の子供の例を取つた所謂のモードの數字を示すものである。此れらの場合可なり個人差のあることは御承知願いたい。

五歳児の生活

大多数が午前六時半から七時の間に起きて夜七時から八時に寝ている。で睡眠時間のモードは、十一時間になつている。食事が朝七時から七時半頃、晝は正午頃、夕食が午後五時半から六時半位の間になつている。

屋内遊戯 男兒女兒とも其七〇乃至八〇%が一日の中に一時間乃至二時間位屋内で遊戯活動をしている。朝から夕刻までの時刻をたどつて見ると、晝食とおやつの時を除いて男の子は一〇乃至二〇%の子供は殆んどいつも屋内で遊戯活動に従事し、女兒では二〇%三〇%位のものと同様屋内の遊戯活動に従事していると見ていゝようである。

なお繪本を見る及び工作も屋内遊戯活動であるが、稍特殊な性質を持つと考えられるので別個に取扱つて見たが、繪本を見るは週休日を通じて男女兒の約十%が食後三十分乃至一時間位之に従事し、工作（折紙、切紙、粘土細工、裁縫其他を含む）には週休日とも夕食後に同じく十%位の子供が従事しているようである。

屋外遊戯 男兒の九〇%、女兒の七〇%は一日の中いつか戸外で遊んでいる。時間は二時間位から六時間位にまで及んでいる。朝は起きると直ぐ六時頃から戸外で遊んでいる者が

あり、九時頃からは五、六〇%の子供が外氣中で活躍している。十時頃おやつのため一寸戸外にいる者が減るが、再び盛り返して十一時頃また五、六〇%に達する。正午の晝食時刻から約一時間の間戸外人口が著しく減少するが、一時頃盛り返して男の子供は再び五、六〇%が戸外に現われ、三時のおやつ頃減少するのを除いては、五時頃まで五、六〇%の者が外で遊んでいる。女の子供の場合は一時からおやつ頃までが三〇%、おやつの後五時頃が最高が五〇%位の者が外にいる。そして男の子供も女の子供も六時でもまだ十乃至二〇%の者が屋外に姿を現わしている。

遊戯性外出 此の他、男兒女兒とも週日に十%内外のもの、休日に三〇%位のものが週日には午後、休日には午前、午後二時間乃至三時間半位、筆者らが遊戯性外出と呼ぶことを行つている。公園に遊びに行くとか散歩に行くとかなどで、大きい子供、大人などについて行つている者が多い。時間はずつと長い者もある。

外出 右のような外出とは別に、また十乃至二〇%の子供が大人について二時間乃至五時間の外出をしている。午前は九時頃から、午後一時頃から訪問が多い。

團らんの時間 子供の約三〇%が夕食後三十分乃至一時間位所謂の家庭團らんの時間を持つている。

お手傳い 週日に於て男女兒の三〇%位が三十分乃至二時間位に亘つて、朝食と夕食の前後家庭のお傳いに従事している。子供のお守り、お使い、家畜の世話等が多い。休日には

減つてゐるが恐らく兄弟などが代るものと思われる。

入浴 三〇%位の子供が入浴している。自宅のものは夕食の前後、銭湯に行く者は二時から四時頃の間である。

晝寝 約四〇%の者が一時間乃至一時間半の晝寝をしている。午前では十時頃から寝ているのがあつた。

六歳児の生活

朝六時から七時頃の間起きて、夜八時頃寝ている。睡眠時間は十時間乃至十時間半で五歳児に比較して約三十分間位減少している。朝食は七時頃、夕食は五時半から六時半の間が多い。調査した六歳児の中には男児に三〇%、女児に三五%の幼稚園児童があつて、これらの子供は朝七時半乃至八時に登園のため出發、一部分は正午前、一部分は一時半頃帰宅している。

屋外遊戯 この項目中には子供が幼稚園へ行つてから戸外で遊んでいたりするのは入つていないが、男女児とも殆んど全部が一日の中にいつかは戸外で遊んでいる。五歳児に比較して男女とも午前中の戸外遊びが少くて午後二時頃から五時頃にかけて最も多いのは、幼稚園組が帰宅後戸外遊戯者の群に加わるからである。午前中も幼稚園児のパーセントは男三〇%、女三五%を戸外遊戯の組に加えると、殆んど五歳児と同様なパーセントになるようである。休日には男女児とも八時半から正午迄と、午後は一時から五時迄の間が多い。なお屋外遊戯に従事している時間は一日のうち二時間乃至

六時間に及んでいる。又男女共各三〇%が一時間或はそれ以上の遊戯性外出をしている。

屋内遊戯 一日の中男女児の五〇%乃至七〇%が一時間乃至二時間之に従事している。この屋内遊戯者のグループに就て注意すべきことは、屋外に遊んでいる六歳児の数の消長が必ずしも屋内遊戯者の數に影響を與へないこと、之れは屋内で遊ぶ者は専ら屋内に留る傾向のあることを示すものではないかと思われる。

繪本を見る 男女児の約三〇%が朝食後又は夕食後三十分乃至一時間本を見て遊んでいる。同じく十%乃至二〇%が一時間食後前述のような意味の工作的活動に従事している。三〇%の男女児はまた夕食後三十分乃至一時間家庭的園らんの中に時間を過している。

手傳い 週日には男児の二三%、女児の四〇%、休日には男児十%、女児四八%が大體朝食夕食の前後何らかのお傳いに従事している。休日に男児の方が減るのは、兄弟などが代るのではないかと思う。

晝寝 週日には男児十%、女児二〇%、休日には男女共三%が午後一時乃至三時頃の間にて晝寝をしている。約三〇%の六歳の男女児が入浴している、後五時頃が最も多い。

七歳児（全部幼稚園児）

起床六時乃至六時半。就床後八時乃至九時。睡眠時間十時間乃至十時間半。朝食、多く七時。登園のため出發、七時半

乃至八時半。在園時間、四時間乃至五時間半。

屋外遊戯

男女とも週休日ともに戸外遊戯に従事するもの一〇〇%。男児は一日一時間乃至四時間、女児は一時間乃至三時間。男児には週日の午前中は登園時間迄にほんの少數が戸外で遊んでいるものがあるが、其他には幼稚園登園のため午前中には戸外遊戯なし。午後は男児は一時頃から二五%位が戸外に現われ、二時頃が五〇%弱、其後四時頃迄三〇%内外、五時頃十%以下に減少する。前記の五、六歳児と比較して可なり減少している。女児の場合の減少は更に著しい。休日には男女とも朝六時頃から始まり正午前後一時間位減少し其後夕食まで續くが四時頃が最高で七歳の子供の四〇%弱が其時刻に戸外で遊んでいる。

屋内遊戯

男児の場合週日に五三%、休日に七五%、各一時間位に従事している。女児は週日に八〇%、休日に一〇〇%が一時間半乃至二時間従事している。男児の場合は六歳児と比較して、週日の午前中の幼稚園在園時間を除いては、殆んど増減がないが、女児の場合は屋外遊戯は六歳児と比較して著しく減少しているのに對して、屋内遊戯は可なり増加している。男女とも後四、五時頃が最も盛んで、女児は其頃四〇%、男児は三〇%を示している。遊戯性外出、男女とも大體三〇%のものが一時間乃至一時間半位、休日には一時間乃至二時間半位、公園に行つたり、散歩に行つたり、又は紙芝居を見に行つたりしている。

繪本を見る

男児は週日に二六%、休日に十三%、女児は

週日に二〇%、休日に六〇%が此活動に従事している。大體三十分程度で夕食前後が多い。工作は二〇%内外で一時間位のモードになつて居る。

園らん 四〇%乃至五〇%の男女児が夕食後三〇分位の園らんの時間を持つて居る。此調査ではラジオをきくが此年齢で始めて登場している。手傳い、三〇%以上の子供が食事の前後三十分乃至一時間の手傳いに従事している。

遊 戯 種 類

最後に此調査で見られた各年齢の子供の従事する遊戯活動の種類を、従事者數の多いものから順次表にして示すと左記の通り。尙参考の爲小學校一年の兒童の遊戯活動種類を、同じく筆者らの行つた調査から取つて比較することにした。

(五頁より)かくの如く、故意に「下品」「くだらない」「いけない」「きたないこと」と歪めて考へていること。

(四) その原因として、両親殊に母親が、性現象に對する正しい知識に乏しいのではないかと云うこと。即ち母親に對する性教育の缺乏が推察される。

(五) 然し、次第に両親の眞面目な問題となりつゝあり、その具體的な指導を欲していること。而して後、

(六) 幼児期より正しい性教育の方法が考えられねばならぬこと、などが云われる。更に具體的な研究を進めて居る。

兒童遊戲活動順位拔萃

男

女

項 目	年 齡				年 齡			
	5才	6才	7才	小學1年	5才	6才	7才	小學1年
見 遊 び	1	2	2	11	2	2	2	4
お 話	4	7	8		4		2	5
積 木	4	5	10	12	8	8	6	14
水 遊 び	5	8	10		5	4		10
運動 競 技 的 遊 戲	6	9	13		5	6	3	9
歌 を 唱 ふ	7		9	11	7	7	5	11
動 物 と 遊 ぶ	7	10	11	11		8		12
ス ケ ー ト	7	10	12	13	8			14
木 登 り	8	11	12	12	7			15
砂 遊 び	8	3	7	12		7		13
工 作	3		13	11		8	6	10
石 投 げ	7		13		7			
お 手 玉						9	6	15
ま り つ き					8	-	5	2
ご つ こ 遊 び	2	1	1	1	1	1	1	1
物 を 食 べ る	4	8	12		4	8	4	
採 集 蒐 集	6	9	3	6	7	7	5	11
三 輪 車 自 轉 車	7	9	5	11	7	5		14
讀 書		5	4	8		9	3	4
ラヂオ を 聞 く		10	11			7	5	8
レ コ ー ド		11	12	13		3		
集 團 對 抗 遊 戲		11	13	13				14
鬼 ご っ こ		11		4		7	5	7
賭 事 的 勝 負 事		9	13	5				13
か く れ ん 坊		9	12	3	7	6	5	8
機 械 體 操 遊 戲	6	4	5	10	7	8	4	3
描 畫	5		13	7	7	7	5	6
野 球 及 球 技	7	6	6	2	6	8		9